

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×書くことが苦手で才能がないと思うのは誤解だ！

書くことは特別なことではない。話したり、聞いたり、メールを打ったりすることの延長にある。あえて、特別な点をあげるとすれば、書くことは、話すことのように面前の人や周囲の流れの刺激を受けずに、一人で黙々と取り組む仕事だ。しかし、それはパソコンに向かっていろいろな仕事を一人で片付けていくことと同じである。パソコンに向かう集中力を、書くことに使うだけである。そう考えていくと、多くの人が言う「私は書くことが苦手で才能がない」という言葉が、うそのように思われてくる。**冷静に考えれば、書くことはふつうのことなのである。ただし、コツもある。そこで以下に、そのコツをいくつか列挙しておきたい。**

※書く前のポイント

- | | | |
|--------|---|--------|
| ①力を抜いて | → | 気負わないで |
| ②冷静に | → | 落ち着いて |
| ③集中して | → | 雑念を払って |

※実際に書くときのポイント

- ・ 目的を明確にする
何の文章を書くか、何のために書くのかの目的をハッキリさせる
- ・ 読む人を意識する
誰が読む文章なのかを明確にする
- ・ 締め切りを守る
タイムリミットがあるから集中できる

※最初に 5W1H で書く内容の整理

- | | |
|------------|--------------|
| ①WHEN (いつ) | ②WHERE (どこで) |
| ③WHO (だれが) | ④WHAT (なにを) |
| ⑤WHY (なぜ) | ⑥HOW (どのように) |

※簡潔に書くテクニック

- ・ 主語を明確にする
- ・ 数字と固有名詞をいれる
- ・ 末尾の表現を統一する
- ・ 客観的に示すデータを入れる (添付する)
- ・ 声に出して読んで確認する

簡潔に書くテクニックを5つ書いてください

() ()

() ()

()